科目ナンバー	SEM-4-005-ky				科目名		卒業	卒業研究 (竹内)				
教員名	竹内 愛	内愛			開講年度	度学期 202		0年度 前期~後期		単位数	4	
概要	本卒業研究においては、前年度の課題演習で設定した卒業論文テーマを敲き台にして、一年をかけて卒 業論文に取り組む。また、ゼミ内の学生の論文に対する意見交換(ピアレビュー)も随時行う。											
到達目標	卒業論文(A420枚程度)提出を最終課題とし、それぞれのテーマで論文を執筆する。その過程において、 学術論文のためのデータ収集方法や執筆方法を体得することも目標と定める。											
「共愛12のカ」との)対応											
識見		自律する力			コミュニケーションカ				問題に対応する力			
共生のための知識	}	自己を理	解する力		伝え合う	カ		0	分析し、	思考する力	0	
共生のための態度	:	自己を抑	制する力	0	協働する力			構想し、	実行する力	0		
グローカル・マイ ンド		主体性		0	関係を構築する力		5力		実践的ス	マキル		
教授法及び課題の フィードバック方 法	月2回を目途に各自の卒業論文進捗具合を発表し、それ以外のゼミの時間は個人面談とする。											
アクティブラーニン	ティブラーニング		サービスラ		ーニング		課題解決型		型学修)	
受講条件 前提 科目	課題演習	課題演習」, を履修済みであること										
アセスメントポリ シー及び評価方法	卒業論文(卒業論文60%、授業内での活動(発表を含む平常点)40%										
教材	必要に応じて配布											
参考図書	「レポート・論文作成法」井下千以子(2013) 慶應義塾大学出版会 ISBN:9784766421071											
内容・スケジュー ル	前期では、先行研究についての調査・まとめ・執筆を行い、その後、後期開始までにデータ収集を行う。その成果の発表の場として、夏休み中に3年生と合同で合宿を開催する。後期では、指導教官と随時面談を行いながら、データ分析、論文執筆・推敲を条自進めていくものとする											

Number			Graduation Thesis						
Name	竹内 愛(Takeuchi Ai)	Year and S emester	Full-year for 202 0	Credits	4				
	The purpose of this seminar is to guide senior students in the design, research and writing of a s enior thesis. Students are expected to plan for their thesis, conduct research, and complete their thesis by the end of the academic year.								